

---

# バカとテストと記憶喪失

山上 楓

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

バカとテストと記憶喪失

### 【Nコード】

N6087Z

### 【作者名】

山上 楓

### 【あらすじ】

吉井明久…アキ…が記憶をなくした…

それも…女子生徒だけという…

そんな馬鹿なと思っけていても…

やっぱり記憶はなくなっけていて…

アキシ達…アキに酷いことしたからかな…

もう…記憶は戻らないのかな…

もう…あのアキに…好きって…素直に告白できないのかな…

誰か…教えて…？

君たち…誰…？（前書き）

まだ別の話も書きあがっていないんですが…  
ゆっくり行きますのであしからず…

君たち…誰…？

「……………」  
見上」「げたら…白い天井…ではなく…ただの病室だった…」

「アキ！！」

「明久君！！」

「お、起きたのか、明久よ。」

「……………」

「明久…どうした…？」

「この子達…誰…？」

「……………」  
「は？姫路に島田に木下じゃないか。」

「……………」

何言ってるの雄二？

「お前…分からないのか…？」

「…初対面だよね…？」

「……………」  
「いや…一年以上一緒だぞ…」

…え？一年以上…？

「アキ…アタシが分からないの…？」

「明久君…私分からないんですか…？」

「……………」

僕が出した答えは一つ…

「…誰…？」

ただ…それだけだった…

君たち…誰…？（後書き）

以上です。

短いなんて言わないでください…

これからのほんんと書いていきますのでよろしくお願いします！

テスト？そりゃ…勉強は嫌いじゃないけど？（前書き）

どうやら明久の性格まで変わってしまい…

テスト？そりゃ…勉強は嫌いじゃないけど？

記憶を取り戻して数日後…

「おはようございます…！！」

「おはよう吉井明久、話があるのだが。」

「…？」

先生、どうされたんですか…？」

「いいから、このテストを受ける。」

赤点ならばもちろん補習だからな。」

「はい…やってみます。」

数十分後…

「……」

「…どうされました…先生？」

「…お前、ちょっと召喚してみる。」

「はい。アウェイクン！！」

数分後…

「…お前、勉強好きか？」

「勉強…ですか…？」

そりゃ、嫌いじゃないですが…」

「…そうか…」

「…？」

「お前、今日振り分け再テストを行う。」

「えっ!？」

「放課後に、教室に残るように。」

「はい、了解いたしました。」

そして放課後…

「始め!」

「そこまで!」

「ふう」

「全問正解だと」

「へ?」

「明日、詳しいことを話す。

今日は帰っていいぞ。」

「分かりました。」

「さようなら、先生。」

「ああ」

と言って僕は帰った。

僕を見送った先生は…

「吉井明久に…何があった…」  
と、呟いていた…

テスト？そりゃ…勉強は嫌いじゃないけど？（後書き）

次話では、Fクラスとの会話がかみ合わない話です。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6087z/>

---

バカとテストと記憶喪失

2011年12月20日17時50分発行